（別添資料１）

事業所名　音楽療法UNICOまつど

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　3 月　15 日

法人（事業所）理念	子どもが主人公のクリエイティブプレイス				
支援方針	音楽療法を中心に据え、アートやダンスなど表現する場を提供し、子どもたちの主体性、自尊心、自立心を育む。				
営業時間	10 時 00 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	（あり） なし	
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	音楽、アート、ダンスなどの身体活動を伴う表現活動により、心身の健康を維持、改善、回復させる。			
	運動・感覚	身体的表現活動及び視覚、聴覚、嗅覚、触覚を刺激し活用する表現活動を行う。具体的には、楽器演奏、リズム運動、リトミック的活動、遊び、ダンス、使用画材の違う絵画や描画等を行う。			
	認知・行動	音楽的に予測しやすい構成（フレーム）を使用した楽曲の聴取、演奏により、認知学習の促進を行う。			
	言語 コミュニケーション	歌を使用することによる発声の促し、歌を歌うことによる言葉の獲得、音楽をセラピストと共有することによる自己の感情の理解、音楽の応答性による音楽的コミュニケーションを促進する。			
	人間関係 社会性	音楽やアートを介した相互人間関係を促進する。具体的には、音楽をセラピストと一緒に演奏すること、パートの決まった合奏を行うことにより、自己コントロールや協調性を育む。アート活動では、一つの大きな作品を皆で創作すること、他の人の作品を見て影響を受けること等を行う。			
家族支援	電話、LINE、オンライン会議ツール、対面により面談を実施し、保護者の話を聞く。また、障害児の特性の理解を促し、育児支援を行う。		移行支援	利用者の進級、進学、新たな通所開始時に、保護者や当該施設及び学校から要請があった場合に、必要な情報を提供する。	
地域支援・地域連携	地域の児童発達支援センター、障害児通所支援事業所連絡会、保育施設、学校などと連携を取りながら、インクルーシブな社会創生を目指す。		職員の質の向上	支援の質の向上のため、大学教員による毎月１回の支援内容に関するスーパービジョンを実施する。虐待、防災、障害特性理解に関する研修等を実施する。	
主な行事等	多様な人たちが製作する「竹あかり」イベントに参加する。施設内の発表会、お楽しみ会等を実施する。				